

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 25 年 9 月 26 日

理事長 松山 良一

大型国際会議の日本開催が続々決定！

～オールジャパン体制による誘致活動が奏功～

(概要)

- 9 月に入り、2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催決定の追い風を受け、開催規模 4,000 名以上の大型国際会議の日本誘致が続々と決定した。(東京 2 件、京都 1 件)
- 主催者、学協会、産業界、自治体等関係者が一致団結し、国を挙げての誘致活動が高く評価された。
- JNTO は観光庁と連携し、内閣総理大臣、所管大臣、観光庁長官、JNTO 理事長等の招請状の発出、国際本部の有力決定権者の日本視察などを支援。
- 国際会議の誘致は、高い経済効果やビジネス機会の創出、都市のブランド力向上を生み出す効果がある。

誘致決定が決まった会議の概要は以下のとおり。(順不同)

会議名	2017 年世界神経学会議		
国際本部 の主な活動	世界神経学会 (World Federation of Neurology)。世界の神経学と脳の健康の発展に寄与し、神経領域に携わる医師・医学研究者の教育や研修プログラムを推進している。		
予定開催地(会場)	京都(国立京都国際会館)	予定開催期間	2017(平成 29)年 9 月
参加予定人数	7,000 名(海外：4,000 名 国内：3,000 名)	予定参加国数	約 120～130 カ国
誘致成功までの 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月 22 日にオーストリア、ウィーンにて開催された世界神経学連合の総会にて、競合都市(ソウル、香港)との投票の結果、開催が決定。(日本では 1981 年京都大会以来 36 年振りだが、これまで 2 回開催したのはロンドンなど 2 カ国。) ・ 競合国に比べ日本神経学会は層が厚く、海外の学会幹部とのネットワークが充実。国際的に活躍している会員を中心に、1 年以上に亘り実施したロビー活動による票の取り込みと緻密な票読み。 ・ 投票日前日のジャパン・ナイトや当日の会場での PR など、誘致メンバーのチームワークと国、自治体、業者等の緊密なサポート体制。 ・ 学術的な意義づけや観光魅力を、魅力的且つ熱意を込めてアピールした会長による最終プレゼンテーションが、投票者の心を惹きつけた。 ・ 学術関係では、日本医師会、日本医学会、日本脳科学関連学会連合からの招請が発出され、関連医学会からの強いサポートを表明。JNTO は、内閣総理大臣、厚生労働大臣、観光庁長官、JNTO 理事長名による招請状の発出と、国際本部からの代表者による開催地視察の支援、および、投票日前日に行われた投票権者を招いたレセプション(ジャパン・ナイト)への駐オーストリア特命全権大使の出席を要請。 		



会議名	第11回国際水協会(IWA)世界会議		
国際本部 の主な活動	IWAは世界130カ国に、約1万人の研究者、実務者を会員として有する、水に関する世界で最も大きな協会(学会)組織。水に関するあらゆる専門家のネットワークを通じ、水に係わる世界的な問題の解決や技術の発展に大きく寄与している。		
予定開催地(会場)	東京(東京ビックサイト)	予定開催期間	2018(平成30)年9月
参加予定人数	6,000名(海外:2,000名 国内:4,000名)	予定参加国数	約80カ国
誘致成功までの 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・9月14日にトルコ、イスタンブールで開催された国際本部理事会における協議にて、開催が決定。(日本初開催) ・国、自治体をはじめ、盤石な体制を敷いて誘致にあたった。 ・世界における健全な水供給・循環システム構築に向けての日本の先導的役割が評価された。 ・JNTOは観光庁長官、JNTO理事長名による招請状の発出を支援。 		

会議名	第22回国際栄養学会議		
国際本部 の主な活動	国際栄養科学連合(IUNS)は、各国を代表する栄養学関連の学会等の連合であり、FAOやWHOを始めとする国際機関への特別諮問を行っている団体である。グローバルレベルの栄養学における科学的知識と研究の進歩を奨励し、促進することを目的としている。		
予定開催地(会場)	東京(東京国際フォーラム)	予定開催期間	2021(平成33)年10月
参加予定人数	4,500名(海外:1,700名 国内:2,800名)	予定参加国数	約120カ国
誘致成功までの 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・9月18日にスペイン、グラナダで開催された国際本部理事会にて、競合都市(ダブリン、北京)との投票の結果、開催が決定。(日本では1975年の京都大会以来46年振り) ・充実した内容の立候補書類、プロモーションビデオやウェブサイトなどの高い完成度が評価された。 ・緻密な戦略と臨機応変な対応、および説得力のあるプレゼン内容が評価された。 ・誘致メンバーのチームワークと国、自治体、業者等の緊密なサポート体制。 ・JNTOは、内閣総理大臣、厚生労働大臣、観光庁長官、JNTO理事長名による招請状の発出と国際本部からの有力決定権者による開催地の視察を支援。 		



(参考:ウィーンにおける世界神経学会議誘致活動の様子)

本件に関するお問い合わせ先

コンベンション誘致部(川崎、荒井、松井) TEL:03-3216-2905

